

令和4年度

EDU-Portニッポン トピックセミナー

# 共生社会で生きて働く力を 育む特別活動

～多様な人々と協働してよりよく生きる力を育む～

令和4年8月8日（月）

文部科学省初等中等教育局視学官

安部 恭子

これからの時代を生きる子供たち  
に必要な資質・能力を育む

## 学習指導要領 前文

(前略) これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

(後略)

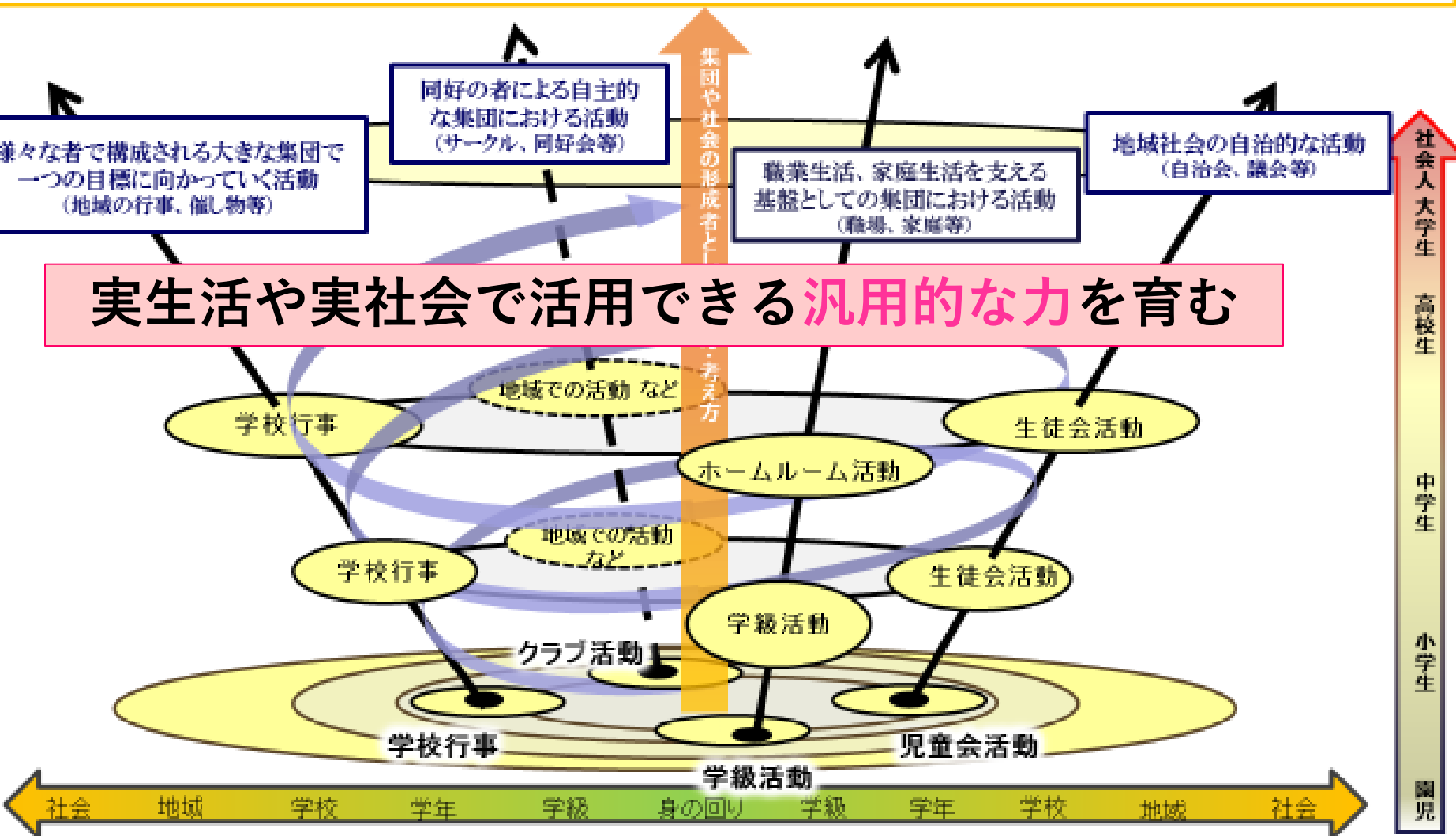
子供たちが多様な他者と協働し、自  
分のよさや可能性を生かしてよりよく  
生きていくことができるようにする

多様な他者と協働し、よりよく  
生きる力を育む特別活動

# 特別活動における各活動の整理と「見方・考え方」(イメージ)

《集団や社会の形成者としての「見方・考え方」》

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、集団や社会における問題を捉え、  
よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けること



# 特別活動において育成すべき資質・能力の重要な視点

## 人間関係形成

違いを認め合い、みんなと  
共に生きていく力を育てます。

## 社会参画

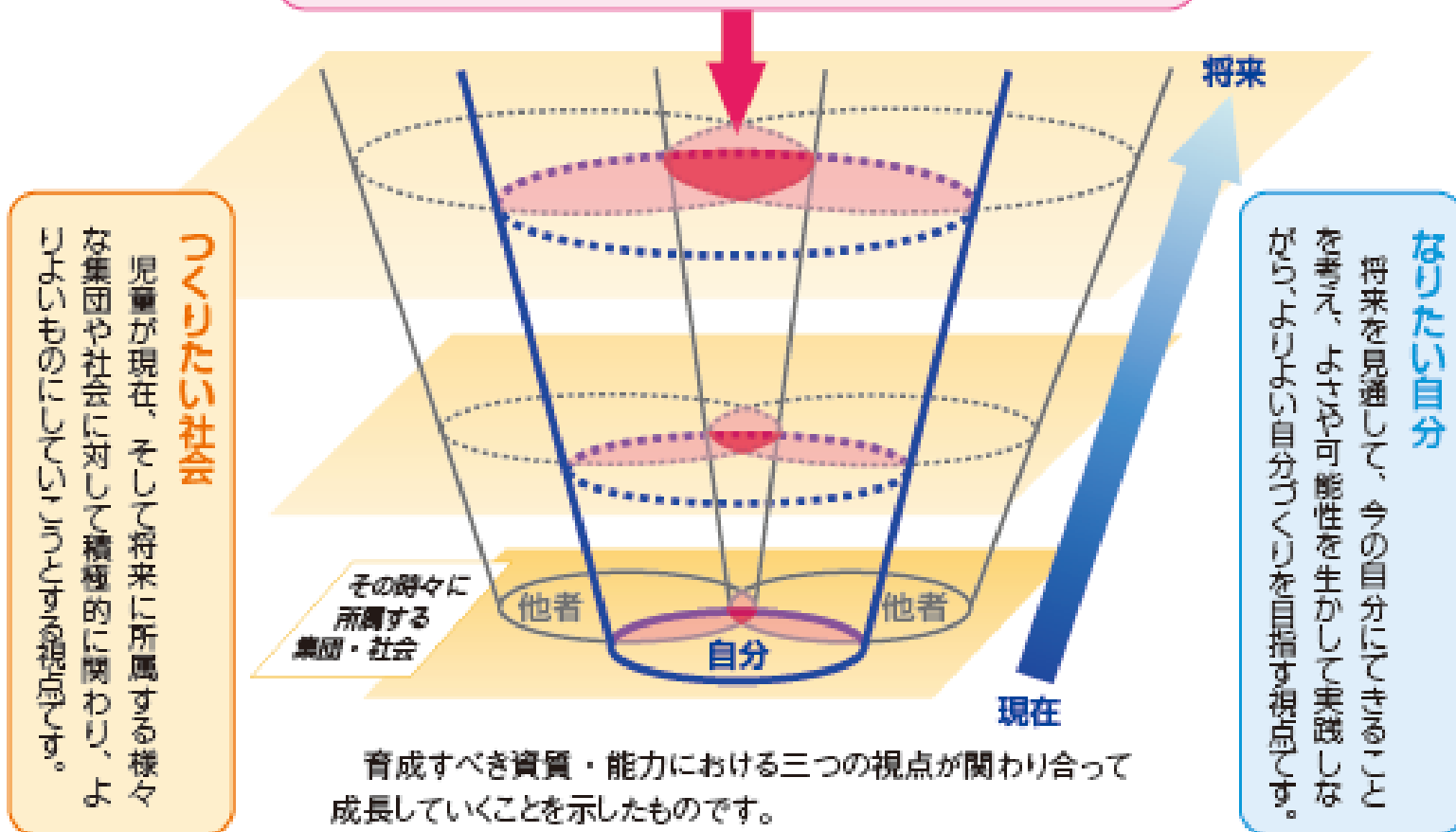
よりよい集団や社会をつく  
ろうとする力を育てます。

## 自己実現

なりたい自分に向けてがん  
ばる力を育てます。

### 築きたい人間関係

「個と個」や「個と集団」の関わりの中で、互いのよさを生かし、  
協働して取り組み、よりよい人間関係を築こうとする視点です。



## 特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。  
【知識及び技能】

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。  
【思考力、判断力、表現力等】

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の（人間としての）生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

(※ ( ) は中学校)

【学びに向かう力、人間性等】

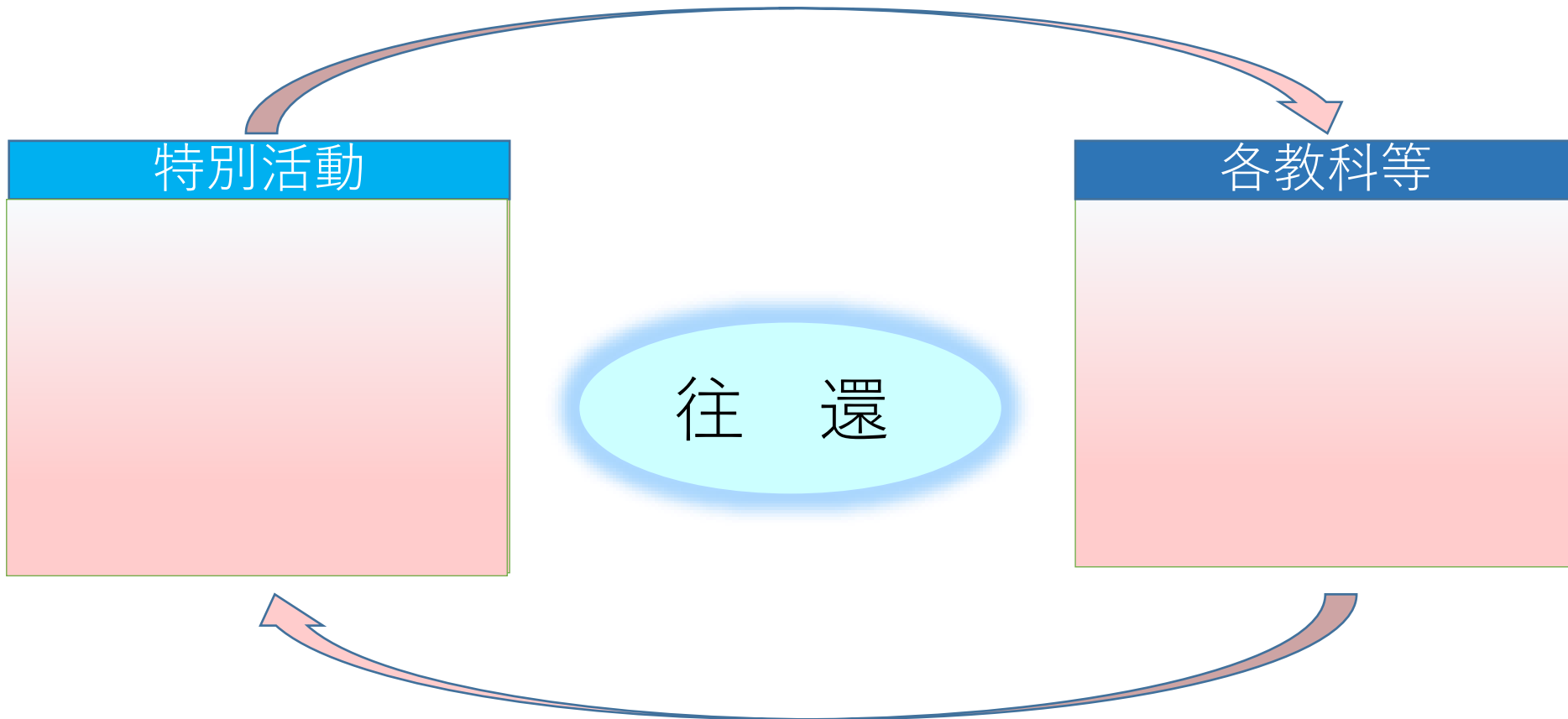
特別活動で育成を目指す資質・能力の視点：「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」



# 特別活動と各教科との往還について

## 【特別活動を通じた学校生活全体の基盤づくり】

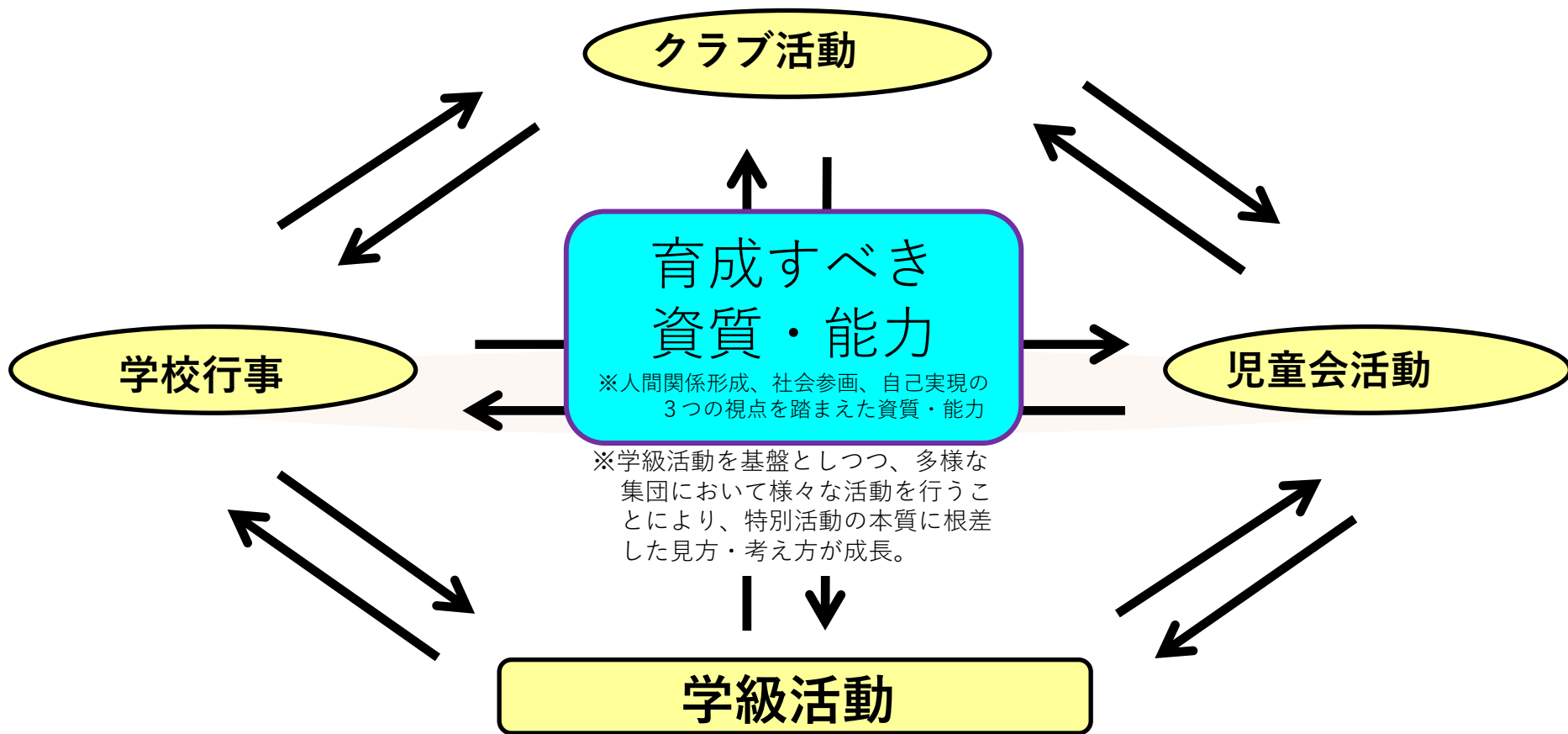
- ・ 学校、学級づくり（学校文化、学級文化の形成）
- ・ 人間関係形成能力の育成（コミュニケーションや合意形成など）
- ・ 社会参画や自己実現のために必要な力



## 【各教科等の学びを生かした特別活動の実践】

- ・ 各教科等で身に付けた資質・能力を特別活動の各活動の中で生かす
- ・ 自己の生活や進路、キャリアに学校での学びをどう生かすのかという振り返りを行う

# 特別活動における各活動の整理（小学校）



## 【特別活動の基盤】

- ・ 学級・学校生活における基本的な集団における活動。
- ・ 「学級や学校の生活づくり」、「日常の生活や学習への適応及び健康安全」について学習する中で、基盤となる資質・能力を育成。

# 各活動の特質を踏まえた 学級活動の指導の充実

## 学級活動の内容

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
- (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

「キャリア形成」とは

社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけ、その連なりや積み重ね

よりよい人間関係を  
形成しようとする態度

多様な他者の意見を尊重  
しようとする態度

みんなのために進んで  
働こうとする態度

自己の役割や責任を果たして  
生活しようとする態度

自己のよさや可能性を  
大切にして集団活動  
を行おうとする態度

自分たちできまりや  
約束をつくって守ろう  
とする態度

## 特別活動で育成を目指す資質・能力

知識や技能を教授するのではなく、各教科等において学習したことも含めて、特別活動の実践活動や体験活動を通して体得させていくようにすることが必要である。

(小学校学習指導要領解説特別活動編 P18)

# 【学級活動】

## 1 目標

学級活動（1）：自治的能力を育む

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定したり、実践したりすることによって、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを旨とする。

学級活動（2）（3）：自己指導能力や自己実現につながる力を育む

(1) 互いの考えを尊重し、  
よりよく合意形成を図る

(1) みんなで協力して実践し、  
楽しく豊かな学級・学校生活をつくる

(2) よりよい言葉づかい

(2) SNSのよりよい活用

(3) 希望や目標をもって  
主体的に生活する

(3) みんなのために働くこと  
当番活動、係活動、委員会活動、生徒会活動



# よりよい合意形成

- \* 安易な多数決で結論を出さない。
- \* 多数意見でまとめていくことが基本だが、**少数意見も尊重**し、生かす工夫はないか考える。
- \* それぞれの意見をくらべ合いながら、「**折り合い**」をつけて**合意形成を図る**。

見方を変える  
視点を変えて比較する

何が違うのかを明確にする  
理由を明確にして話し合う

互いの意見を理解し合う  
相手の立場に立って共感的  
に理解する

## 自己有用感を高める

特別活動では、特に学級活動（1）を中心とした自発的、自治的な活動を通して、児童生徒が互いに協力し合い認め合う中で、自分が他者の役に立つ存在であることを実感し、自分のよさや可能性を発揮して自信をもつようになる。

また、振り返りにおいても、自分や友達のがんばったことなどを認め合ったり教師からその成長を称賛されたりする。

こうして児童生徒は、他者との関わりや他者からの評価によって自分が仲間から必要とされていることや役に立っていることを実感し、自己有用感が高まっていく。

教師は、そうした成功体験を感じることが出来る一連の取組を、発達段階に応じて継続的に行うことが大切である。

多様な集団活動の経験の中で、**集団活動の運営や役割を果たす**活動を通して

自分なりの考えを深め、集団の一員としての役割貢献、リーダーシップの発揮などのあり方やめあてをもって取り組むことができるようにする。



場や機会の充実

学級活動における自発的、  
自治的活動を中心とした  
学級経営の充実

# 学習活動や学校生活の基盤となる 学級経営の充実

## 小（中）学校学習指導要領 第1章 総則 第4 児童（生徒）の発達の支援

(1) 学習や生活の基盤として、教師と児童（生徒）との信頼関係及び児童（生徒）相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ること。

## 小（中）学校学習指導要領 第6（5）章 特別活動 第3の1（3）

(3) 学級活動における児童（生徒）の自発的、自治的な活動を中心として、各活動と学校行事を相互に関連付けながら、個々の児童（生徒）についての理解を深め、教師と児童（生徒）、児童（生徒）相互の信頼関係を育み、学級経営の充実を図ること。その際、特に、いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図るようにすること。

学級活動（１）における自発的、自治的な活動を中心に学級経営との関連を図る



学習活動や学校生活の基盤となる  
学級経営の充実に資する

学びに向かう学習集団を形成

◇数学的リテラシー得点の学校質問紙・生徒質問紙の結果及び調査問題との関連

【OECDによる「生徒の学習到達度調査(PISA2003)」】

学級の雰囲気が良いほど得点が高くなる

生徒のモラルが高いほど得点が高くなる



## 学び合う学級の雰囲気をつくり、学ぶ意欲を高める特別活動

### 学習指導要領実施状況調査（平成24年度） 分析結果のまとめより

特別活動に関する児童質問紙調査に肯定的な回答をしている児童が多い学級ほど、ペーパーテスト調査において平均正答率が高い傾向が見られる。また、教師質問紙調査に肯定的な回答をしている教師の指導を受けている学級ほど、ペーパーテスト調査においても同様の傾向が見られる。

このことから、特別活動を通じたよりよい生活や人間関係づくりは、受容的な雰囲気や学校生活への目標を達成しようとする意欲や態度を醸成し、学力と相互に関係していると考えられる。

なりたい自分に向けて努力し、  
自分らしい生き方の実現につなげる  
～特別活動を要としたキャリア教育～

# 「キャリア教育の要」としての役割を果たす

## 小（中）学校学習指導要領 第1章 総則 第4の1（3）

児童（生徒）が、**学ぶことと自己の将来とのつながりを見通し**ながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、**特別活動を要としつつ**各教科等の特質に応じて、**キャリア教育の充実を図る**こと。（その中で、**生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択**することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。）